

第2号様式 (第8条関係)

禁止行為の解除承認申請書

年 月 日

東京消防庁
四谷 消防署長 殿

申請者
住 所
電話 ()
氏 名

火災予防条例第23条第1項の規定による指定場所における禁止行為について、解除の承認を受けたいので下記により申請します。

記

防 火 対 象 物	所 在 地 名 称	新宿区霞ヶ丘町4番1号 日本青年館ホール	
解除の承認 を受けよう とする場所 (指定場所 の用 途)	<input type="checkbox"/> 劇場等 <input type="checkbox"/> 地下街 <input type="checkbox"/> 飲食店等 <input type="checkbox"/> 重要文化財等 <input type="checkbox"/> 百貨店等 <input type="checkbox"/> 車両の停車場及び船舶・航空機の <input type="checkbox"/> 屋内展示場 発着場 <input type="checkbox"/> 映画スタジオ及びテレビスタジオ <input type="checkbox"/> ホテル等		
	期 間	年 月 日 から 年 月 日 まで	
	種 類	内 容	
	<input type="checkbox"/> 噸 煙		
解除の承認 を受けよう とする行為	<input type="checkbox"/> 裸火使用		
	<input type="checkbox"/> 危険物品持込み		
※ 受 付 欄		※ 処 理 欄	

- 備考 1 申請者が法人の場合、氏名欄には、その名称及び代表者氏名を記入すること。
 2 内容欄には、裸火使用については機器名、熱源、最大消費熱量、火炎の大きさ等を、危険物品持込みについては品名、成分、数量等をそれぞれ記入すること。
 3 解除の承認を受けようとする場所の平面図のほか、必要な図書を添付すること。
 4 ※欄には、記入しないこと。

(日本産業規格A列4番)

申 請 内 容 明 細 書

申 請 場 所		1 階	
責 任 者		防火管理者	椎名 雅則
解除承認を受けようとする行為	概 要		
	〔 使用場所 使用場面 理 由 〕		
	内 容		
	〔 名 称 使用量 成 分 性 状 取扱要領 〕		
	行 为 者		
補足事項等			
火 灾 予 防 上 講 じ た 措 置	<input type="checkbox"/> 消火器の設置 〔 ___ 本 位置 : _____ 〕 <input type="checkbox"/> 屋内消火栓の準備 〔 ___ 口 位置 : 舞台 上手下手各 1 〕 <input type="checkbox"/> 消火担当者の配置 〔 ___ 名 位置 : _____ 〕 <input type="checkbox"/> 消防計画に定める自主検査 〔 最新実施年月日 : _____ 〕 <input type="checkbox"/> 会場管理計画の作成 <input type="checkbox"/> 訓練の実施 〔 最新実施年月日 : _____ 〕 <input type="checkbox"/> 始業時、終業時の点検等 〔 担当者 : _____ 〕 <input type="checkbox"/> 承認行為のチェック 〔 実施者 : _____ 時期 : 仕込終了時 _____ 〕 <input type="checkbox"/> 防炎性能あり 〔 <input type="checkbox"/> 幕 <input type="checkbox"/> 敷物 <input type="checkbox"/> 大道具 <input type="checkbox"/> その他 (_____) 〕 <input type="checkbox"/> その他 〔 _____ 〕		
□ 欄は該当する ものをレ印で、 アンダーライン 部分には該当す る内容を記入す ること。			

備考 1 申請場所ごとに作成すること。

- 2 禁止行為を行う位置、消火器の設置位置等を明記した使用場所の図面を添付すること。
劇場等及びスタジオの場合は、禁止行為の位置、消火器等の設置位置、消火担当者の位置
周囲の状況（可燃物からの距離等）、床面の状況（材質、養生の方法等）、舞台上の人の
配置等を明記すること。
- 3 必要に応じて性能等に関する資料を添付すること。

四谷消防署長 殿

日本青年館ホール
防火管理責任者
氏名椎名雅則

会場管理計画

ホールにおいて禁止行為解除承認を受けて催物を行う場合は、下記事項を守り火災予防ならびに人命安全につとめる。

記

第1. 防火管理対策

1 設置されている下記消防用設備等を適正に管理する。

- (1) 消火器 (5) 避難口誘導灯、通路誘導灯
- (2) 屋内消火栓 (6) 排煙設備
- (3) スプリンクラー設備 (7) 防火扉
- (4) 自動火災報知設備

2 主催者に対し、下記事項を徹底させる。

- (1) 危険物品あるいは、裸火の持込量ならびに取り扱い方法は、承認どおりとする。
- (2) 持込み幕類及び大道具は、防災処理済のものを使用する。
- (3) 危険物品付近に消火器を設置させる。

3 承認条件と異なる取り扱いをした場合は、直ちに主催者にその行為を中止させる。

4. その他

- (1) 通路、出入口、避難口付近には避難上障害となる物品を置かない。
- (2) 収容人員は、定員以下とする。(定員1249名)

第2. 自衛消防対策

公演中は、次の様に主催者を含めた自衛消防組織を編成する。

